

レポート

# こども園をつくる

—文京区立お茶の水女子大学こども園の記録—

## Vol.5 / お茶大こども園フォーラムの意義と可能性

宮里 暁美



第一回お茶大こども園フォーラムは、文京区内関係者をはじめ、日本中の保育者や研究者が総勢五百名近く集まり、熱い語り合いと学び合いの機会となりました。

午後の部では、室伏学長の開会挨拶に続き、成澤文京区長が来賓挨拶。乳幼児教育の役割の重要性と本園への期待が熱く語られました。

### 研究報告の

後、無藤 隆

先生からは、

認定こども園

の意義や新し

い乳幼児教育

に求められる

ものについて

ご講演いただき

き、開園一年

がたとうとす

るこの時に大

きな指標を得

3 / 5

日時：平成29年3月5日（日） 10:30 - 16:30  
会場：お茶の水女子大学 午前：こども園 午後：大学講堂（敬音堂）  
主催：文京区立お茶の水女子大学こども園 <http://www.fz.ocha.ac.jp/kodomoi/>  
共催：お茶の水女子大学 人間発達教育科学研究所 <http://www-w.cf.ocha.ac.jp/tehd/>

### 午前の部

10:30 - 12:00

見て・感じて・語り合っ！ 会場：こども園 園舎内  
こども園施設見学・ポスター発表・トークイベント

### 午後の部

13:30

開会行事

開会挨拶 室伏きみ子  
来賓挨拶 室伏きみ子

13:40

研究報告

小さなこども園の大きな挑戦(1) お茶の水女子大学教授・こども園園長 宮里暁美  
園内研究会の立ち上げと変遷 お茶の水女子大学特任講師 内海結香  
園評価の思想と課題—お茶大こども園の目指すところ お茶の水女子大学教授 小玉亮子

15:00

講演会

「新しい乳幼児教育に求められるもの」 白梅学園大学子ども学部長 無藤隆 先生

16:30

質疑応答・閉会

宮里 暁美（みやさと あけみ）

文京区立お茶の水女子大学こども園園長。

る貴重な一日となりました（講演内容は、本誌54～57ページに掲載）。

午前の部では「見て・感じて・語り合つて！」をテーマとし、全職員が参加者と対話する、新しい形式の提案を行いました。午前の部の様子を詳しく報告します。

### 対話を誘う多様な掲示

開園以来、全職員がそれぞれの専門性を存分に発揮し協力しあつて保育を創り上げてきました。保育を創るという営みは模索の連続でしたが、「子どもを真ん中に置く」ということが、当初から貫いた共通の意識でした。

今回のフォーラムの主人公は子どもであり、一人ひとりの職員です。各自が自分の歩みを振り返る機会を持ち、掲示を作り、その掲示をきっかけに参加者と対話することを計画しました。十四の掲示の要約と当日の様子を紹介します。

#### ② 一歳児くるみ組

(松本・志知川・粕川)

##### 【室内遊びや生活の中で育つ】

子どもたち一人ひとりを大切に受けとめ、自分のやりたいことにゆっくりに取り組めるようにしてきました。同じ遊具を持って笑いあい、同じ動作をして喜びあう姿も見られます。

##### 【歩いた先の出会い

～自然に触れて～

横並びで歩いたり空を見上げたり、心と体で気持ち良さを味わう日々。子どもらしく過ごすことができる環境についてまとめました。

#### ① 〇歳児どんぐり組

(古川・粕川)

##### 【安心できる環境の中で、よく食べ、眠り、遊んで、心地よく過ごす】

発達や姿に合わせて保育室内の配置を変え、環境にかかわり遊ぶ姿を見守り、子どもの気づきを一つも見逃すまいと傍らに寄り添い続けた記録です。

##### 【見る・聞く・触れる体験】

自然の中で物や虫や音と初めて出会います。成長とともに、体の動きも遊び方も変化していきます。

### ③ 二歳児りんご組（石塚・三浦）

#### 【外遊びと室内遊び】

行動範囲が広がり、自然物に触れ、見立てて遊びます。遊び込める環境構成を心がけています。

#### 【一歳児と二歳児の生活リズム】

心地よい生活ができるように、食事から睡眠まで、発達に応じた少人数の動きを大切にしています。食事はテーブルごとに時間差をつけ、保育者がゆったりとかかわります。



▲食事の様子

### ④ 三歳児かりん組（田島・大森）

#### 【つながる・感じる・表現する】

一年間の写真記録を振り返り、子どもの育ちが見えてきました。周りの友達の姿を見ることから始めて、相手とイメージをつなげようとしていく姿。いつもの場所でも雨や光や寒さに出会うことで、いつもとは違うということに気づく姿。自分で作ったものを人に見せたいから飾ってみようとする姿など、三歳児らしい姿です。



▲対話に熱がこもる。

### ⑤ 四歳児もみじ組（古賀）

#### 【変化してきた場作り・いつもの遊びから行事へ・子どもも大人も面白い身近な自然】

子どもたちの思いや遊びを大切に経験を積み重ねたいと模索しながら進んできました。模索の中から見えたことをまとめました。

### ⑧ 食体験を豊かに (川島)

乳幼児期は味覚の土台が培われる時期。素材の味を生かした和食中心に、楽しく食べられる雰囲気づくり、ワクワクする特別メニュー、構内の畑で作った野菜の調理など、食体験の様子をまとめました。

### ⑥ 二階テラスは素敵な空間 (もみじ組 内野)

外だから面白い。  
細長い・高い・区切られている・暖かい・雨が降るなど、テラスでの子どもたちの姿から、テラスの魅力や可能性を探りました。

### ⑨ 地域とつながる子育て支援 (私市・田尻)

特別な保育スペースがなくてもできる子育て支援、一年目の園でもできる子育て支援についてまとめました。親子共に豊かな経験ができ、安心できる場になるための工夫や、お茶大子ども園の特性を生かした地域子育て支援について提案しています。

### ⑦ 保健活動の実際 (南木)

健康で安全に過ごせるために、子どもたちの健やかな成長を保護者と共に育んでいけるように、保健活動を行っています。健康状態の把握、病気・事故・ケガの対応、職員や保護者への働き掛けについてまとめました。



▲テーマに沿った場所に掲示をした。テラスの掲示はテラスに。

### ⑫ 保護者とつながる (宮里)

一人ひとりの子どもが違うように、家庭のあり方も多様。こども園の良さはそこにあります。多様性を大切にしながら子育てを楽しむ親たちになっていけるように、「ほっとできる場所」「遊び心が扉を開く」「発信と受信」、三つの観点を大事にしています。

### ⑬ 一階ウッドデッキ (宮里)

保育室と庭をつなぐウッドデッキは縁側のようなです。0～2歳の子どもたちは、散歩に行くとき、ここで靴をはき、散歩から帰ると、ここで靴を脱ぎます。少し広めのウッドデッキが温かな雰囲気を出しています。夏にはプール遊びもします。

### ⑭ 手作り遊具 (杉浦・宮里・川辺)

身近にある素材、不要になったモノたちが、杉浦さん(用務員)の手によって命を吹き込まれ、子どもたちの手に渡ると、それはうれしい遊具になります。竹のスコップ、手押し車、ドングリの坂道。どれもが子どもの動きや遊びをイメージして作られています。子どもたちは手作り遊具で遊び、豊かで可能性に満ちた時間を過ごしています。

### ⑩ 保育を語りあう時間づくりの足跡 (森永)

新しい環境や園生活に慣れるまでは、担任が食事をとるために保育室から離れることも難しい状態でした。時間はつくろうとしなければつくり出せない! そこから、さまざまなチャレンジが始まりました。休憩時間の確保、雑談時間、打ち合わせ時間の確保。シフトを工夫したり、記録の書き方も改善しています。

### ⑪ 地球とつながる (宮里)

これからの時代を生きる子どもたちにとって重要な視点。「持続可能な開発のための教育 (ESD)」に関する先行研究から学びながら、食・自然とのかかわり、さまざまな国の人との出会いを大切にしています。



▲手作り遊具の魅力に引き込まれる。

## トークイベント・語り合いの時間

午前の部の最後は語り合い。お茶とおやつで和やかさの演出をしました。語り合いの中でたくさんのご意見を頂いたことが力になりました。私たちはここから次の一步を踏み出していこうと思っています。

### 〈参加者の感想〉

◎ 掲示にあった「子どもの気づきを一つも見逃すまいと傍らに寄り添い続けていきます」、この言葉の意味を学生たちに伝えていきたい、そして探究的な保育者を育てられるように努力しようと思います。

◎ 「幼稚園教育発祥の地」だからこそ「遊び文化×子どもがつくる」が園の中心に据えられているということが伝わりました。経営の工夫について共に学びたいです。

◎ 迷いながら問い掛けあいながら試行する結果が、人間らしい優しさや思いの表れとして今

の形に結ばれていることを、好ましく、いとおしく感じました。

◎ すべてに挑戦していこうとするエネルギーを感じました。立ち止まらず子どもたちと一緒に創っていく生活、素晴らしいです。

◎ 毎日暮らしている場所に写真とモノと先生方の語りがあるという研修方法が素敵。子どもの姿を考えながら学ぶことができました。

◎ 豊かな子どもの表れは「自分の遊びや生活は自分でつくれるんだ」と知った子どもたちによって生み出されるということを知りました。

◎ 自分の頭にある思いや考えを誰かに伝えるために「切り取る」ことで、自分のこと、自分の中の整理や発見につながることを、あらためて感じました。



▲多様な参加者が語りあう、豊かな時間。